

# 工業部会通信

(発行)  
 かながわ経済新聞合同会社  
 〒252-0239  
 相模原市中央区中央3-12-3  
 商工会館本館1階  
 ※プリントしてご自由にお読みください。

かながわ経済新聞  
 KANAOKI

## 最先端エネ技術触れる 横浜テクノステーション視察

### 東京ガス全面協力 他部会からの参加も



施設全体の説明を受ける参加者



▲▼ガスパイプライン技術の変遷にも触れた



相模原商工会議所工業部会はこのほど、東京ガス協力で、同社の横浜テクノステーション（横浜市鶴見区末広町）などを視察した。約20人が参加し、最先端の技術に触れた。他部会からも参加者があり、部会間の垣根を超えた交流にもつながった。



家庭用燃料電池の技術について聞く参加者たち



バイオマス技術の説明に聞き入る



新製品を手にする鈴木社長

### 東鈴紙器が発売

段ボールで秘密基地  
 東鈴紙器(中央区小町通)は、オリジナルの子供向け自社製品「キッズプレイハウス」を発売した。直径約80センチ、高さ130センチ、重さ2キロ程度。ロケットのような外見をしており、この中に入って、子どもたちが「秘密基地」にできるアイデア製品だ。

### 段ボールで秘密基地

「家でも子どもたちが自分のスペースが持て、元気に遊べます」と鈴木和弥社長。段ボール素材なので、絵を書いたり、シールを貼ったりできる。価格は4890円(税別)。直販サイト「トリーショップ」で販売していく。

同社は、工業製品向け輸送用ダンボールの製造販売が主力。BtoB市場からBtoC市場に新規参入するねらいで現在、オリジナル製品の子ども向けに「段ボール家具」を展開中。0.5~6歳児まで、子どもの成長に合わせて商品をラインアップしている。

今回の「キッズプレイハウス」のほか、ダンボールのゆりかご(3980円)、0.5~2歳までのベビーチェア・デスク(3800円)、3~6歳までのジュニアデスク・チェア(4500円)なども販売。「段ボール家具」という新たなジャンルだが、子どもが間違っただけでなくても安全な上、塗料などに有害物質が含まれていないため、購入者は増えているという。

(かながわ経済新聞)

### もの補助説明会 市内2会場開催

財団など共催  
 相模原市産業振興財団は相模原市、相模原商工会議所と共催で、平成28年度補正予算で実施される「革新的ものづくり」

同商工会議所の交通運輸部会、建設部会も合流。今後のエネルギー社会のあり方について見識を深める狙いで企画された。視察した横浜テクノステーションは東京ガスの基盤技術の開発拠点。一行は、施設で手掛けている研究の説明を受けたほか、パイプライン技術センターも視察。膨大な量のパイプラインネットワークをより安全で効率的に構築・維持するための技術にも触れた。その後、東京・新宿に移動。エネルギーソリューション展「Your Energy2016」の会場を見て回った。業務用・産業用の需要家を対象とした総合展。エネルギーサービスや蒸気、燃焼機器、再生エネルギーといった技術・ソリューションが展示されており、参加者たちは興味津々の様子だった。

商業・サービス開発支援補助金(ものづくり補助金)の説明会を12月中旬に市内2会場で開催する。いずれも事前の申し込みが必要。

《相模原会場》【日時】12月13日午後2時~同4時【会場】相模原市立産業会館・多目的ホール【定員】150人  
 《橋本会場》【日時】12月15日午後2時~同4時【会場】サン・エールさがみはらホール【定員】150人



さあ、5年後の未来を見に行こう。

## 新規会員募集中 近未来技術研究会

相模原商工会議所工業部会